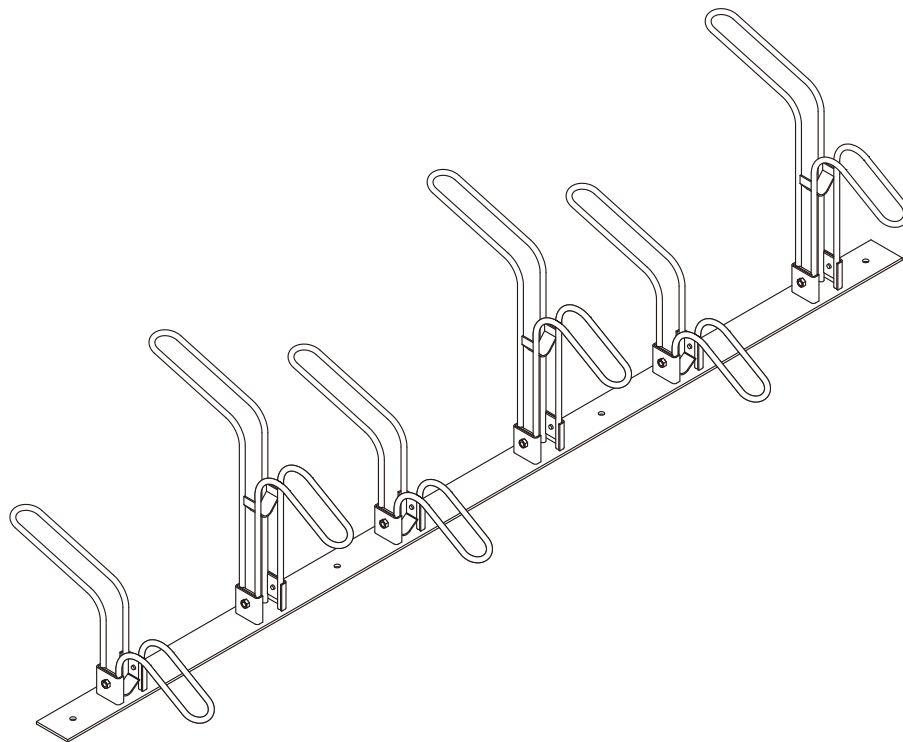




# サイクルラック 前輪式 A型



このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### ■安全に関する記号と説明

**注意**

- ・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ■情報に関する記号と説明

**施工上のお願い**

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

## □ 施工の前に

### ▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### 施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に必ず確認してください。

## □ 施工上のご注意

### ▲ 注意



- 製品は必ず基礎コンクリートの上に設置してください。アスファルトなど十分な強度が得られない場所に設置した場合、製品が外れたり転倒するなどケガや破損のおそれがあります。



- 製品は必ず水平に設置してください。製品本体が傾いたまま使用すると、自転車が倒れたり落下するなど、ケガや破損のおそれがあります。
- 屋上や崖の上など風当たりの強い場所や、基礎が不安定な場所に設置しないでください。強風により、自転車が倒れたり落下するなど、ケガや破損のおそれがあります。
- 製品の改造は絶対にしないでください。不具合・強度低下などの原因になります。

## □ 施工上のご注意

つづき

### 施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

## □ 施工の後に

### ▲ 注意



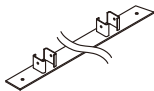







- 施工完了後、各部分のねじに緩みがないか必ず確認してください。
- 周囲の安全を確認し、不具合がないか点検・確認をしてください。

### 施工上のお願い

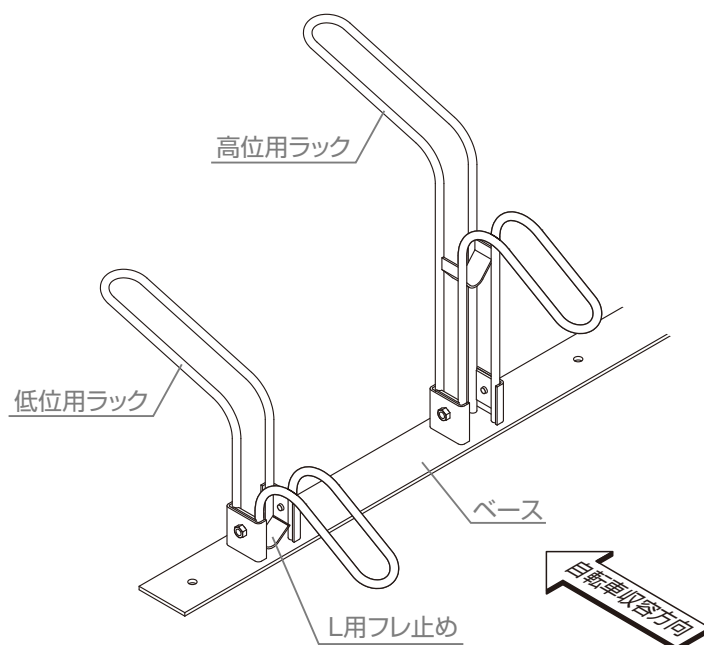
- 取付説明書は、管理者または使用される方に必ずお渡しください。
- 取付説明書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

# 梱包明細表

## 【1】 サイクルラック 前輪式 A型

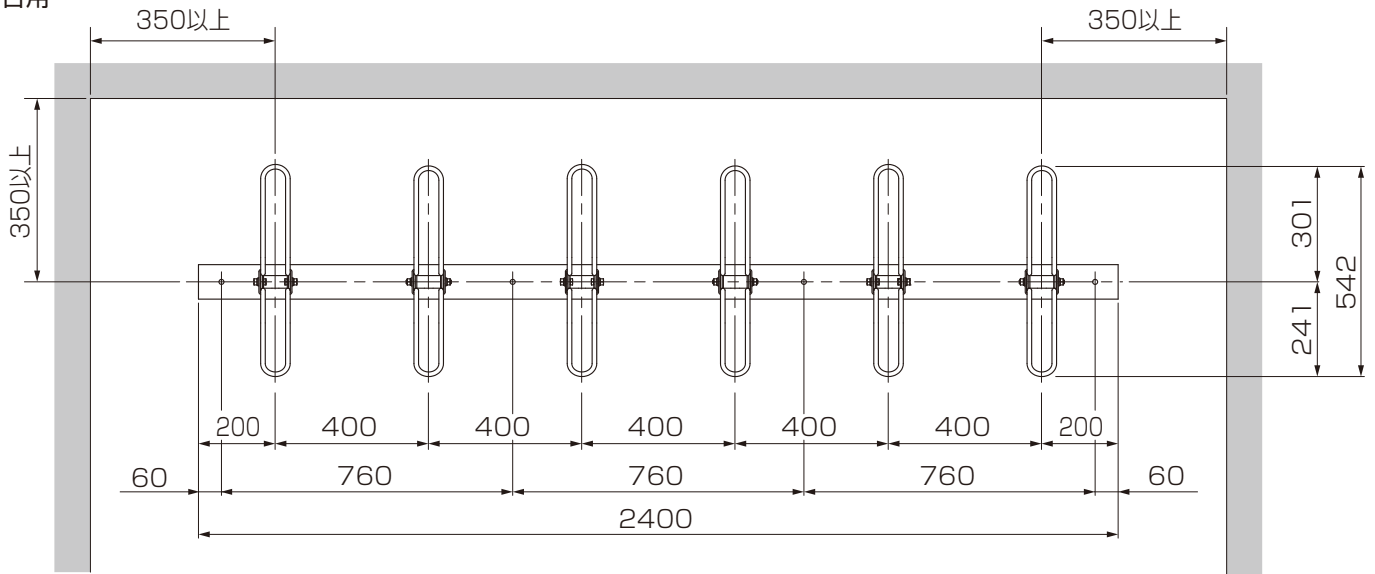
名 称	員 数					略 図
	2台用	3台用	4台用	5台用	6台用	
ベース	1	1	1	1	1	
高位用ラック	1	1	2	2	3	
低位用ラック	1	2	2	3	3	
L用フレ止め	1	2	2	3	3	
【1a】M10×25 六角ボルト	4	6	8	10	12	
【1b】M10 六角ナット	4	6	8	10	12	
【1c】M10 平座金	4	6	8	10	12	
【1d】M10 ばね座金	4	6	8	10	12	
【1e】M10×60 アンカーボルト	2	2	3	4	4	
取扱説明書	1	1	1	1	1	—
取付説明書	1	1	1	1	1	—

## 各部名称

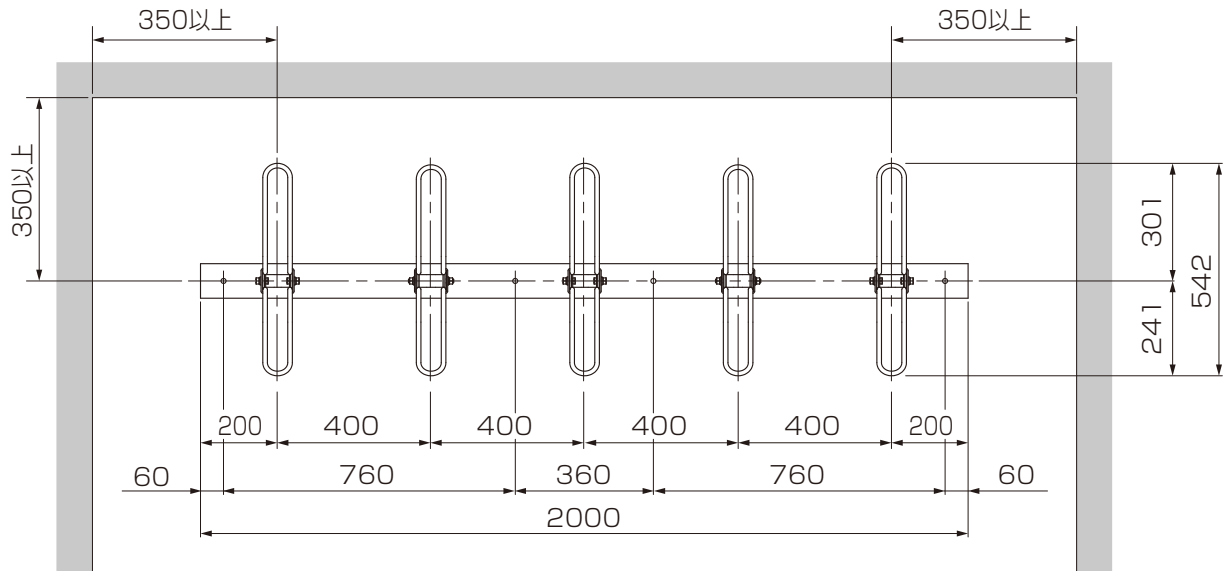


# 基本寸法

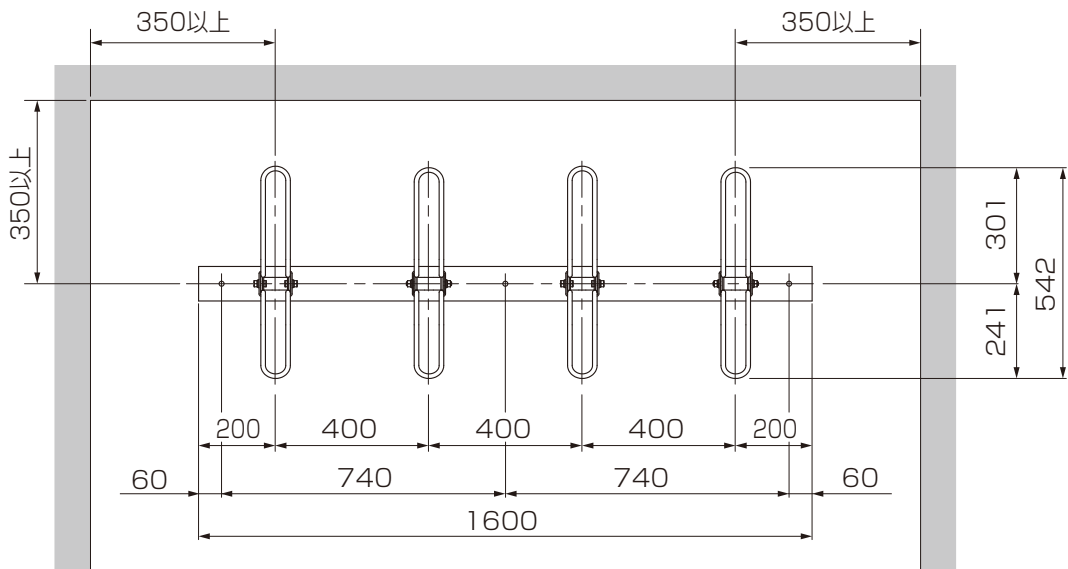
## ■6台用



## ■5台用

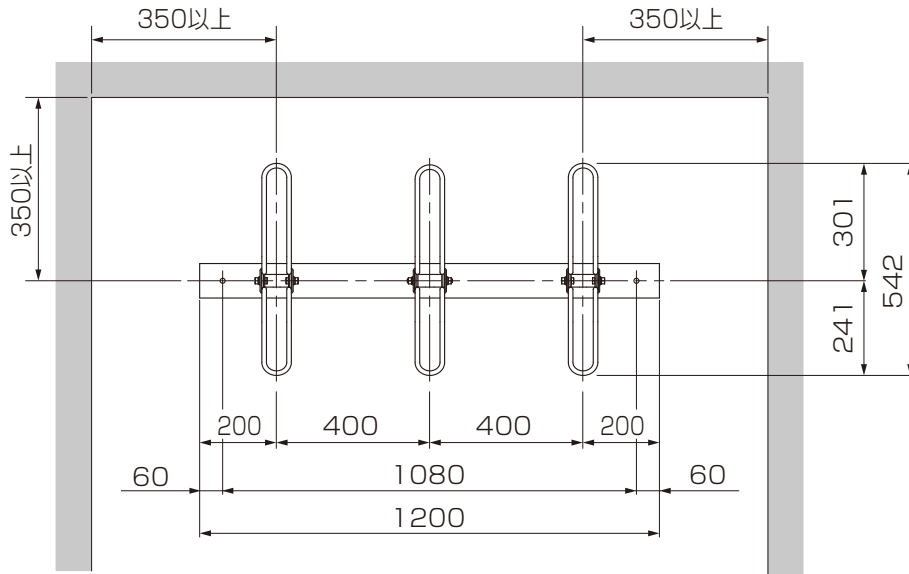


## ■4台用

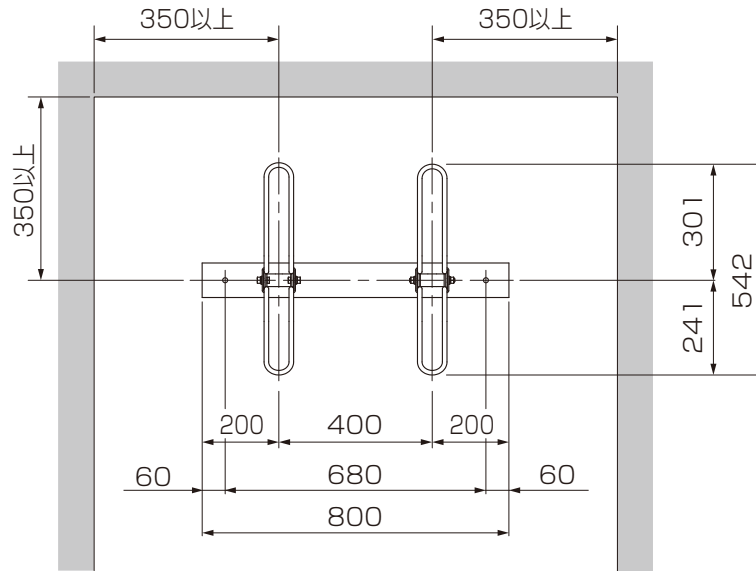


# 基本寸法

## ■3台用



## ■2台用



# 1 施工手順

## 1-1 アンカー用の下穴加工

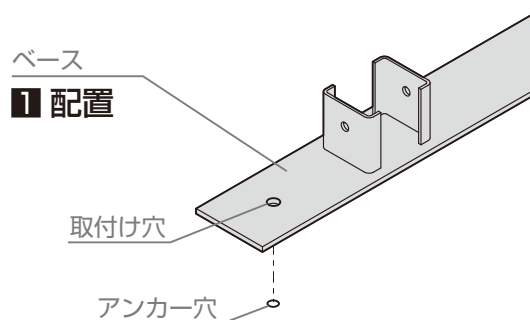
- 1: アンカーの位置を墨出し
- 2:  $\phi$  10.5mmのコンクリート用ドリルで、深さ50mmのアンカー穴を加工
- 3: アンカー穴や周囲に残った切粉を、掃除機などで清掃

### ⚠ 注意

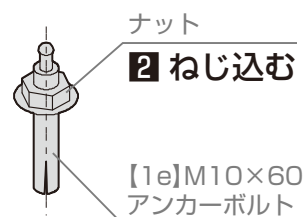
- 基礎コンクリート以外の場所へのアンカー打ちや、コンクリートが生乾きの状態でのアンカー打ちは、絶対に避けてください。  
十分な強度が保てないため、製品が外れたり転倒するなどケガや破損のおそれがあります。

## 1-2 ベースの設置

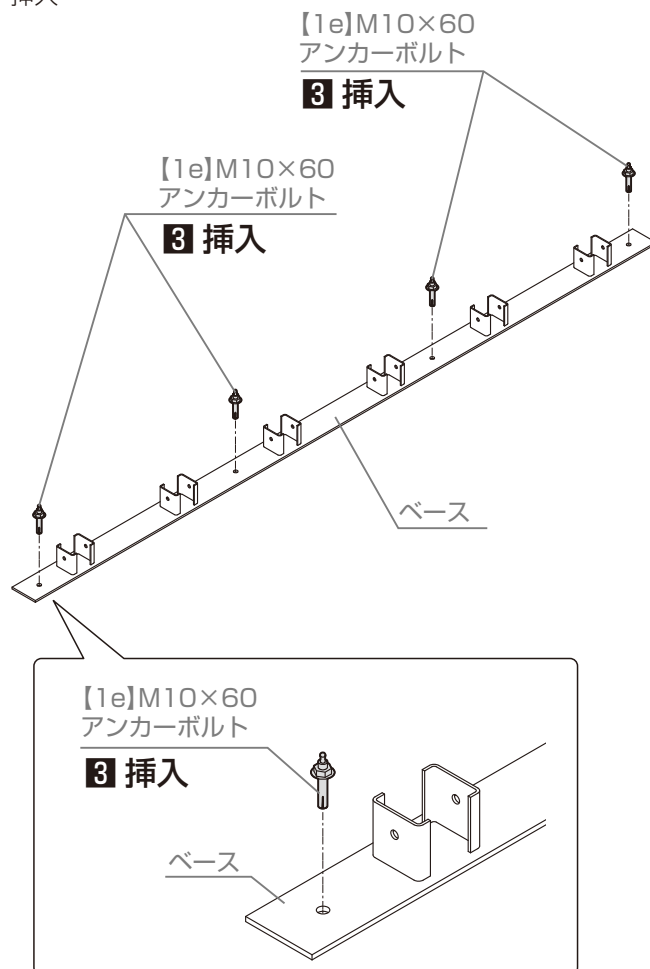
- 1: アンカー穴とベースの取付け穴が合うようにベースを配置



- 2: 【1e】のねじ部が見えるまでナットをねじ込む



- 3: 【1e】をベースの穴を通してコンクリートのアンカー穴に挿入

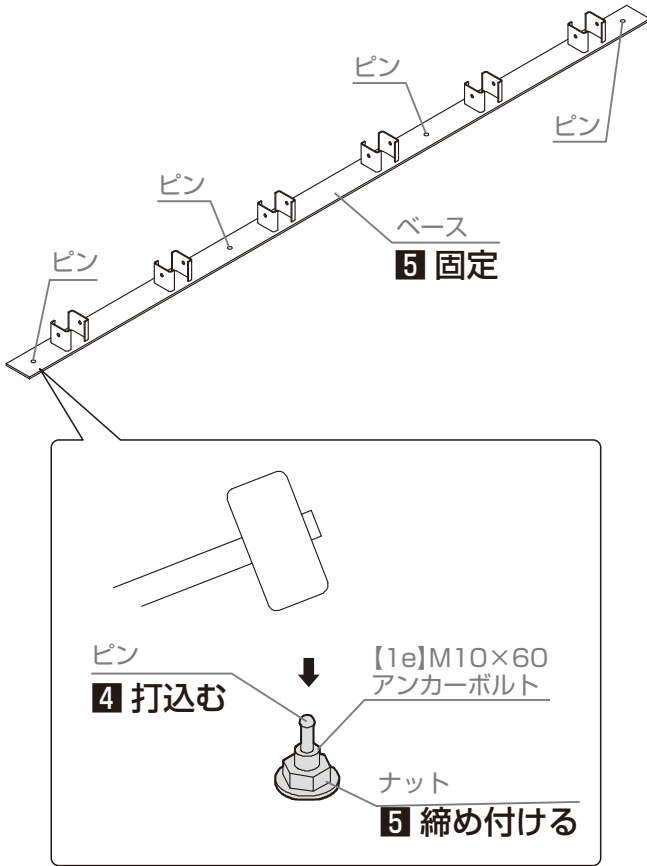


# 1 施工手順

## 1-2 ベースの設置 (つづき)

4: [1e]のピンをハンマーで打込む

5: [1e]のナットを順番に締め付け、ベースを固定



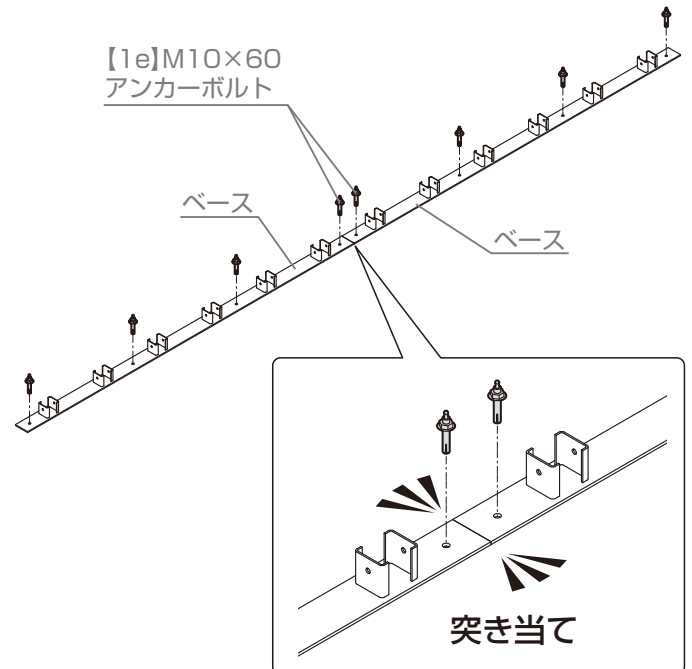
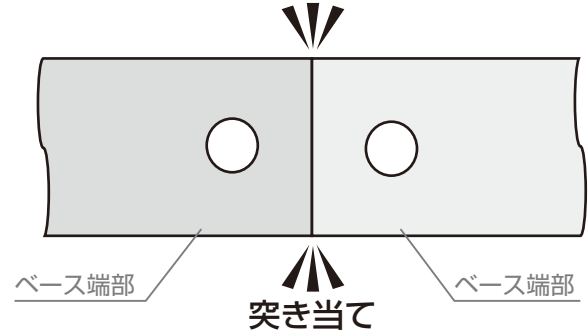
### ▲ 注意

- アンカーボルトのピンは最後まで打込んでください。ピンが途中で曲がったり、打込みを途中でやめた場合、十分な強度が保てないため、製品が外れたり転倒するなどケガや破損のおそれがあります。
- アンカーボルトが抜けたりナットが締まらない場合は、基礎をやり直すか、長めのアンカーボルトを使用して基礎にベースをしっかり固定してください。そのままの状態で使用すると、アンカーボルトが抜けて製品が外れたり転倒するなどケガや破損のおそれがあります。

### ■ ベースを連結する場合

#### 施工上のお願い

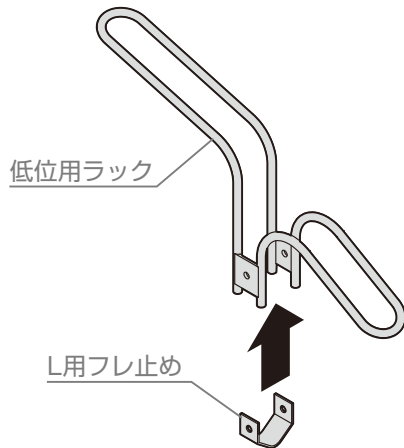
- 連続配置する場合は、ベース端部を突き当てた状態で取付けてください。



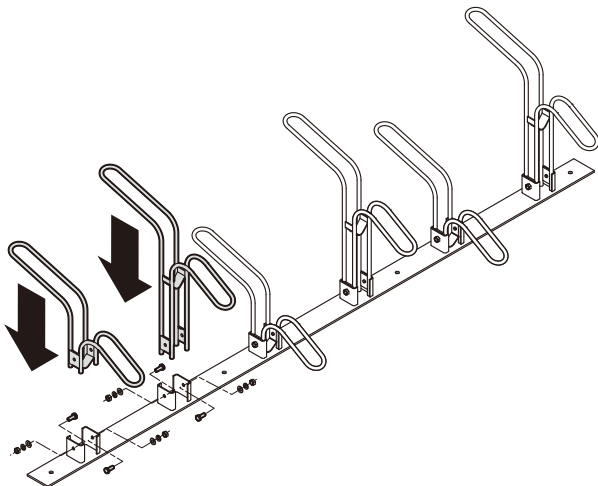
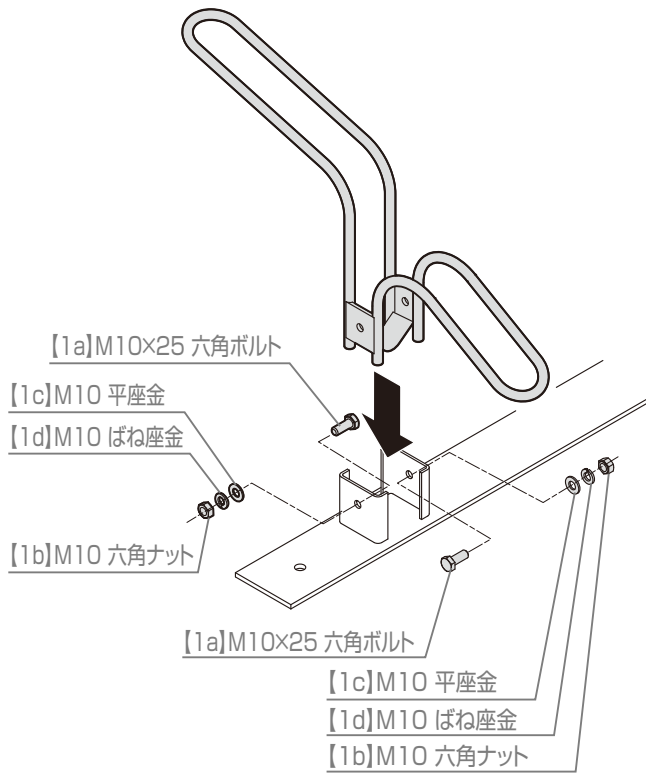
# 1 施工手順

## 1-3 ラックの設置

1: 低位用ラックにL用フレ止めをはめ込んで、一緒に取付け



2: 高位用ラック、低位用ラックを、【1a】、【1b】、【1c】、【1d】で交互に取付け



## 1-4 ラックの設置確認

- 1: 設置位置が正しいことを確認
- 2: ボルト、ナットの締め忘れがないことを確認
- 3: 清掃を行い、工具忘れなどがいないことを確認し、作業を終了

